

平成29年 4月 14日  
国立大学法人 千葉大学

## レジ袋がエコバッグに変身！？

### レジ袋を有料化した基金を使って学生が企画・デザインした オリジナルエコバッグを大学生協で割引販売

千葉大学環境ISO学生委員会では、千葉大生協のレジ袋の有料化に伴う「れじぶー基金」を使って、学内に向けた環境活動を展開しています。本年度は学生がデザインしたオリジナルエコバッグを**4月17日(月)**から大学生協にて割引販売します。

#### ■オリジナルエコバッグについて

学内の教職員や学生に対してエコバッグの利用を推進し、学内外の店舗におけるレジ袋の使用を削減するとともに、ごみの削減に対する意識啓発を目的とし、環境ISO学生委員会の学生が企画からデザイン、販売促進までを担当しました。表には学生が考えた「WE ARE THE CREW」というメッセージが書かれています。

(材質：ポリエステル サイズ：横420×縦430×幅130mm ポーチ付き 色：黒)

**販売価格：200円** (税込)

**販売個数：390個** (西千葉：330個／松戸：30個／亥鼻：30個)

**販売開始：西千葉…4月17日(月)** ※松戸・亥鼻は後日の予定



#### ■千葉大独自の「れじぶー基金」による割引販売の仕組み

千葉大学では環境ISO学生委員会の発案により、2006年度から大学生協においてレジ袋の有料化(1枚5円)を実施しています。

現在、物販店舗だけで年間110万人以上が利用する千葉大生協におけるレジ袋の購入は年間7,000枚程度で、平均購入率は0.5%。「レジ袋無し」が当たり前となっています。

これによりこれまでレジ袋の購入に充てられていたお金と、レジ袋の販売収入を「れじぶー基金」として生協から拠出いただき、環境ISO学生委員会が、レジ袋削減にご協力いただいた学内の学生や教職員に対し、オリジナルエコグッズの割引販売や、太陽光によるイルミネーション、プリンター設置による緑化など、さまざまな環境活動を実施して還元しています。

今回も約15万円をれじぶー基金から捻出して割引に充て、原価569円のバッグを、学生にも買いやすい価格(200円)で販売します。

▲コンパクトポーチ付きで持ち歩きやすい仕様



▲大学生協のレジにある「レジ袋5円」の表示

#### ■千葉大学環境ISO学生委員会とは

2003年千葉大学においてISO14001認証取得への動きが始まるとともに発足し、環境マネジメントシステムの構築・運用に貢献。現在では、学内の研修講師、目的目標実施計画の原案作成、内部監査、外部審査対応、環境報告書作成、省エネ省資源・緑化・堆肥化等の活動、地域との連携、学内への啓発活動などを担当。西千葉・亥鼻、松戸・柏の葉地区に分かれて活動。2009年NPO法人化。所属学生：約200名(2016年度時点)。指導教員は倉阪秀史(千葉大学法政経学部教授)

取材のお申込み・本件に関するお問い合わせ  
千葉大学環境ISO事務局 担当：岡山  
TEL:090-6170-4397 メール：sakiko.n.1027@chiba-u.jp